

第1回 運営委員会

日時 平成30年6月5日（火） 13:00～14:10

場所 市庁舎8階 教育委員会室

<出席者>

嶋崎教育長

中野学校教育部長

村松学校指導担当部長

福原企画調整監

河端 則好委員長

瀧川 秀敏副委員長

市之川 敦子委員

大島 健委員

菅沼 真弓委員

鈴木 義秋委員

谷保 寿彦委員

中村 巳佐子委員

松本 奈津子委員

無江 真弓委員

藤崎 博人委員

多治見指導主事

西山指導主事

中島調査研究専門指導員

本郷事務員

※委嘱状交付

- 1 嶋崎教育長挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 運営委員長及び副委員長の選出・挨拶
- 4 議事
 - (1) 平成29年度事業報告
 - (2) 平成30年度運営方針
 - (3) 平成30年度研究事業
 - (4) その他
- 5 質問・意見交流
- 6 閉会

《質問・意見交流より》

- ・夏季、冬季の教員研修講座について、参加者が増員していることは、大変喜ばしい。
- ・教師の資質向上については、子どもたちにとってとても素晴らしいことなので、今後も研修プログラムを充実させてほしい。
- ・研究指定校については公募ということだが、教師の資質向上のためにも、全学校が指定を受け、学校力を上げられるように工夫してほしい。
- ・自身も研究所員として CRT 学力検査の分析や、副読本の作成に携わっていたことがあり、脈々と続いていることが改めて確認できた。
- ・ONE-UP 研修会のような人間力を高める講座は大変すばらしい。近年、十勝管内と帯広市内の人事交流も多いので、それをサポートし、スムーズに地域の教育になじめるような研修も一つの方法として考えてほしい。
- ・クラウド型サーバーには様々な資料がアップロードされており、現場での活用ができ、大変うれしく思う。
- ・夏、冬の講座は教職員も楽しみにしており、しっかりと研究所の取組を伝えなければならないと感じている。
- ・学校現場では、毎日の授業の準備等に大変時間をかけている。様々な校務について、働き方改革を進めるという観点でも、クラウド型サーバーには大変興味がある。
- ・自校では、ネットワークドライブに全ての教科のフォルダがそろっていて、そこに教職員が作り上げるものを蓄積するようにしている。教材や資料を共有する時代が来ている。研究所のシステムと共に学校のデータ共有体制も強化していきたい。
- ・研究所で行っている研修講座は専門性が高く、特に夏季、冬季の教員研修講座などを通して、先生方の教師としてのスキルは十分高まってきていると感じている。そこで、昨年度から実践提案のある ONE-UP 研修会のように、教師の人間性を育めるような研修を多く行ってもらいたい。様々な方面の講師からの講座を経験することは、人間性を高めるだけでなく、日々の業務に追われる先生方の一種のリフレッシュ、息抜きにもなると思う。
- ・学習指導要領の改訂を見据え、3年生から外国語の授業をしている。小学校の先生は、指導の経験がない方も多く、さらに外国語の研修も学校の中ではなかなか用意できず、個人的に研究し、実践を頑張っている先生方も多い。今年度、教育研究所でも外国語に関わるグループが新設されているので期待しているし、頼りにしている。
- ・教育にかかわりたくさんの研究をしているということは、運営委員にならなかつたら、なかなか分からなかったことなのでしっかりと感謝しながら、子どもたちにも伝えていきたい。
- ・教育研究所については、年々良くなっていると感じている。クラウド型サーバーシステムの使い勝手がよくなったり、長期教員研修講座のチラシを筆頭に、各種案内も見やすく、伝わりやすくなった。
- ・29年度に開催された「心を育てる教育フォーラム」に参加し、大きな感銘を受けた。これからも積極的に各方面から講師を呼んでいただいて、勉強し、先生方に還元したい。
- ・クラウド型サーバーにある、データベース教材やビデオ教材などを普通教室で見せようとしたとき、パスワード入力等つまづくこともあり、教材まで到達できず、活用をあきらめてしまったことがあるという声も聞く。クラウド型サーバーの活用についてさらなる周知をしていただきたい。